

「定住満足度日本一、交流満足度日本一のまち」を目指して

2005年（平成17年）宇佐市・安心院町・院内町の1市2町の合併により誕生した本市は、今年15年目となります。10年目の節目の年である2015年（平成27年）に策定した第二次宇佐市総合計画においては、「定住満足度日本一、交流満足度日本一のまち」をまちづくりの目標として定め、各施策・事業の進捗状況や事業効果などに関して、施策評価を実施することで、PDCAにより「前期基本計画」及び「実施計画」の確実な執行を図ってきました。



その結果、昨年度実施した施策評価において、「成果が出ている」「概ね成果が出ている」と評した主要施策は、94.7%に達しているなど、本市のまちづくりは、着実に進展しているものと考えております。しかし、近年の本市を取り巻く環境は、少子高齢化による人口減少の顕著化に加え、九州北部豪雨などの大災害を踏まえ、安全・安心に対する意識が高まりを見せるなど、大きく変化しています。

今回の後期基本計画の策定にあたりましては、前期基本計画を総括するとともに、グローバリズムの波や第4次産業革命の波など、この5年間で大きく変化した5つの時代の潮流を意識しつつ、各種施策・事業の再構築を図りました。

今後も、世界的に感染が拡大している新型コロナウイルス感染症への対策をはじめ、様々な時代の要請や住民ニーズに対して、臨機応変に、かつスピード感をもって対応し、市民の皆様とともに「住んでよし、訪れてよし」のより良い宇佐市づくりに向け、全力を尽くしてまいります。皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたり、ご審議を賜りました総合計画審議会委員や市議会議員及び関係者の皆様、並びにまちづくりアンケート、パブリックコメント等で貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様から心から感謝申し上げます。

令和2年4月

宇佐市長 是永 修治